

構造生命科学データクラウドの未来を拓く 序章

創薬等支援技術基盤プラットフォーム・情報拠点

国立遺伝学研究所

菅原秀明

hsugawar@nig.ac.jp

20130922

第3回モデル生物丸ごと一匹学会

1

創薬等支援技術基盤プラットフォーム

Platform for Drug Discovery, Informatics, and Structural Life Science (PDIS)

- 文部科学省の補助事業として2012年に発足
- 多数の機関が参画する解析拠点、制御拠点ならびに情報拠点の仮想的3拠点
- 生命科学全分野を対象とする支援と、技術基盤の高度化の2本の柱



解析拠点情報	制御拠点情報	情報拠点情報
解析拠点は、タンパク質の構造解析に供する試料の調製、タンパク質の立体構造解析及び計算科学を活用したバイオインフォマティクス等に関する技術や施設及び設備等を一貫して提供し、外部研究者等のタンパク質立体構造解析研究を支援します。	制御拠点は、創薬シーズ等の探索のために、化合物ライブラリースクリーニングの技術基盤や施設及び設備等、化合物の最適化や新規骨格の構築等を行う合成技術の基盤等を一貫して整備して外部研究者等に提供します。	情報拠点は、タンパク3000プロジェクト及びターゲットタンパク研究プログラム並びに平成23年度創薬等支援技術基盤プラットフォームの結果からなるデータベースやアソシエートを管理・運用します。また、それらを継続的に更新し、内容の拡充や高度化を行います。
3領域から構成されます ▶ 生産領域：タンパク質試料の調整 ▶ 解析領域：タンパク質構造解析 ▶ バイオインフォマティクス領域：構造予測等の計算化学	2領域から構成されます ▶ ライブリースクリーニング領域：化合物ライブラリーの提供スクリーニング機器の共用 ▶ 合成領域：ヒット化合物の最適化	1領域から構成されます ▶ 情報領域：データベース、解析ツールの提供
解析拠点へのお問い合わせ窓口 TEL:03-5841-5167	制御拠点へのお問い合わせ窓口 TEL:03-5841-1960	情報拠点へのお問い合わせ窓口 TEL:03-5841-6837

支援

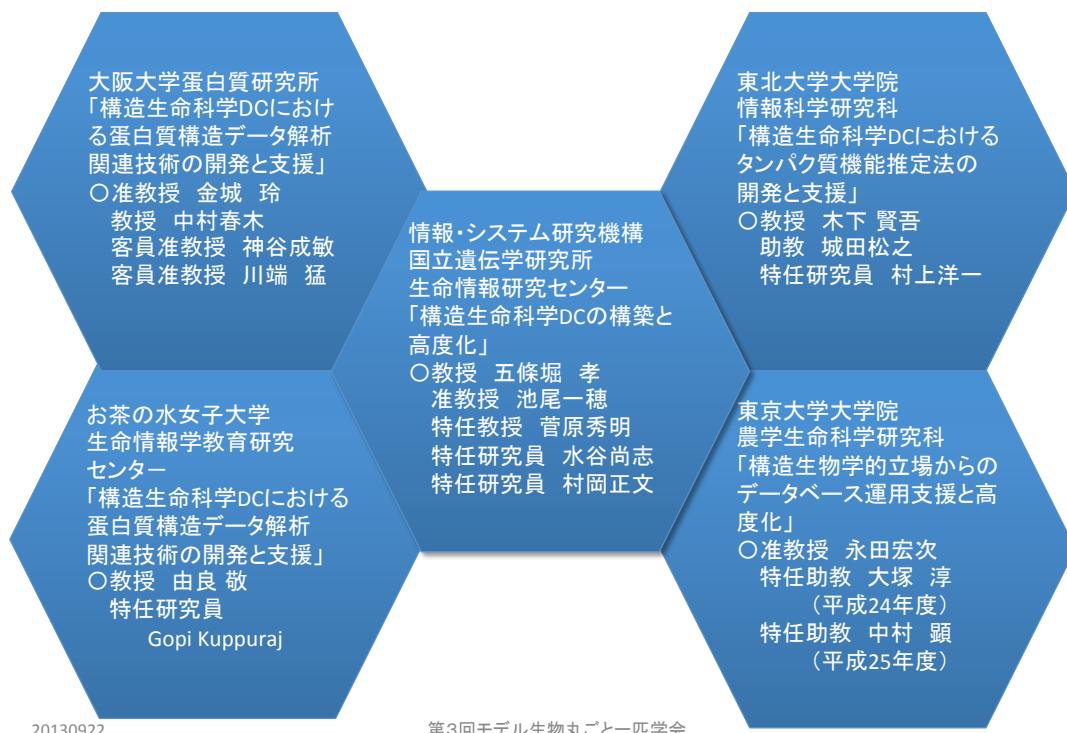
高度化

20130922

第3回モデル生物丸ごと一匹学会

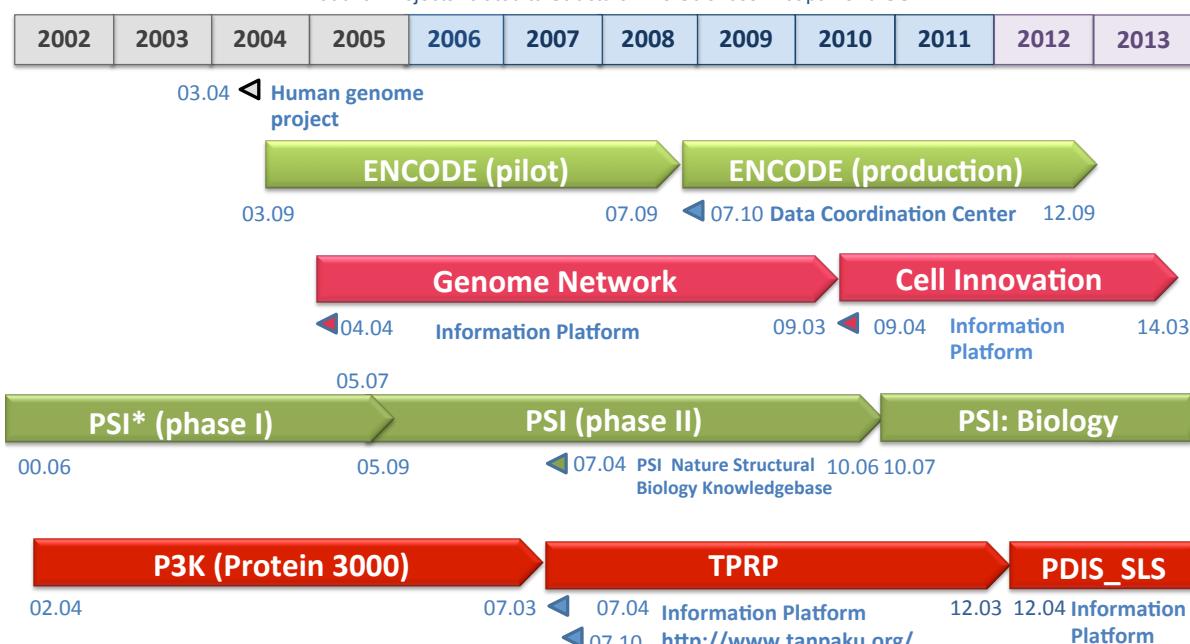
2

情報拠点実施機関5機関と実施者 (2013年9月時点)



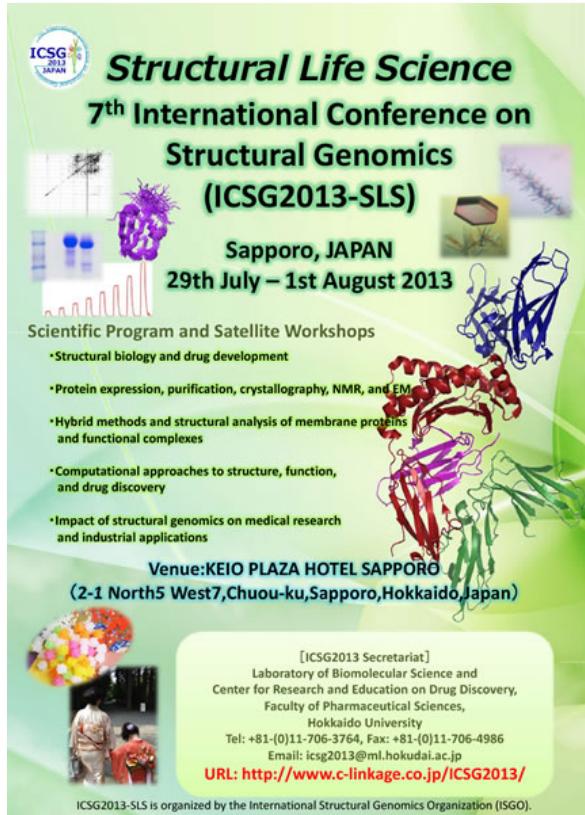
構造生物学プロジェクトから構造生命科学のコンセプトに至るまで

National Projects related to Structural Life Sciences in Japan and US



- **PSI: Protein Structure Initiative (US)**
 - **TPRP: Targeted Proteins Research Program**
 - **DDI SLS: Platform for Drug Discovery, Informatics and Structural Life Science**

構造生命科学(Structural Life Science)のキックオフ)



20130922

5

構造生命科学はモデル生物丸ごと一匹学会と共鳴するところが....

「本学会について」より

“この前身の研究会(「高度好熱菌丸ごと一匹プロジェクト連携研究会」)では、モデル生物として高度好熱菌 *Thermus thermophilus* HB8 を利用したシステム生物学的研究に関する情報交換とともに、種々のモデル生物についての情報交換も行ってきました。その過程で、高度好熱菌のような単細胞生物の生命現象は、以前考えられていたよりもはるかに高等動植物と似かよっていることもわかつてきました。また、いずれの生物種においても、タンパク質(遺伝子)の1/3-1/2 が「機能未知」の状態で残されており、その状況は生命現象をシステムとして理解する際の障害となっています(倉光成紀(2008) 生化学 80, 1075-1075; (2009) 生産と技術 61, 17-26)。それら機能未知タンパク質(遺伝子)の中で、動植物から微生物まで共通で重要な働きをしていると考えられるタンパク質でさえも、まだ約200種類が機能未知の状態で残されています。それらの機能がいずれかの生物種で分かれれば、他の生物種のシステムも理解できるようになります。

それら機能未知タンパク質の機能推定には、立体構造情報が威力を発揮することがわかつてきましたが、その他の機能推定法として、ゲノムワイドな機能解析(トランスクリプトミックス、プロテオミックス、メタボロミックスなど)なども利用されています。

一方、タンパク質の立体構造が多くの研究者の協力によって明らかにされた結果、フォールド単位ならタンパク質の立体構造が75%以上予測可能な時代になり(Kaufmann, K. W. et al. (2010) Biochemistry, 49, 2987-2998; Levitt, M (2009) Proc. Natl Acad. Sci. USA 106, 11079-11084; CASP9 in 2010 (2011) Proteins 79 (suppl. 10) 1-207)、分子の立体構造をもとにして生命現象を化学的に理解できる範囲が、飛躍的に拡大されつつあります。それによって、生命現象をシステムとして原子分解能で理解する時代が始まりつつあります。”

-- snip--

20130922

第3回モデル生物丸ごと一匹学会

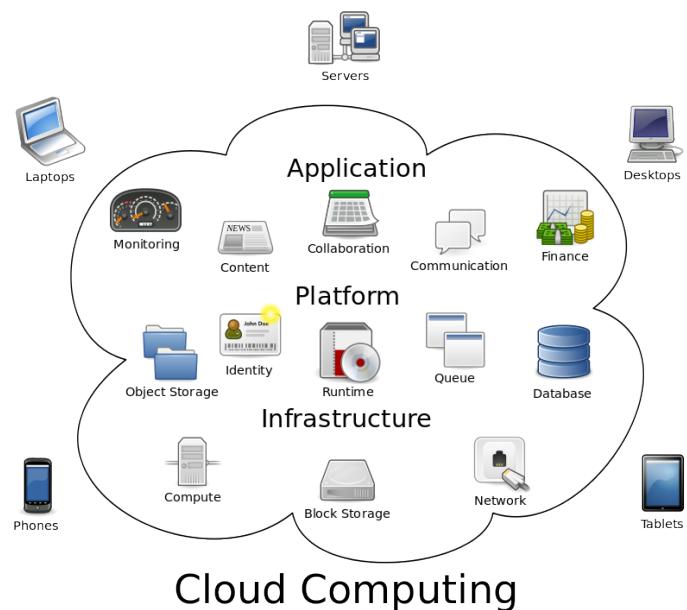
6

クラウドコンピューティング

クラウドコンピューティング(英: cloud computing、または単にクラウドとも)とは、ネットワーク、特にインターネットをベースとしたコンピュータ資源の利用形態である ← 作り手の視点

ユーザーは、コンピュータによる処理やデータの格納(まとめて計算資源という)をネットワーク経由で、サービスとして利用する。

出典
<http://ja.wikipedia.org/wiki/クラウドコンピューティング>



Created by Sam Johnston using OmniGroup's OmniGraffle and Inkscape (includes Computer.svg by Sasa Stefanovic)

構造生命科学データクラウド

データクラウドはデータ資源の利用形態 ← (使い手の視点)

- コンピュータ資源を意識せずに
- 研究動向や技術を俯瞰できる
 - 発想の手がかりを得られる

Q: 大腸菌での発現に行き詰った！

A: 昆虫細胞、無細胞系、巻き戻し技術などによる成功例をレポート

Q: 希少・難治性疾患Mについてどこまでなにが分かっているのか？

A: 疾患Mならびにその類似の疾患について分子機構の解明から薬剤の開発・販売状況までレポート



データクラウド

構造生命科学データクラウドの素材

パブリックな情報資源
独自の情報資源(DBs)

20130922

第3回モデル生物丸ごと一匹学会

9

パブリックな情報資源例(GeneCards)

The screenshot shows the GeneCards homepage. At the top, there's a search bar with 'Search by [keywords] for [input field]'. Below it, a banner says 'About GeneCards®: GeneCards is a searchable, integrated, database of human genes that provides concise genomic related information, on all known and predicted human genes. [more...](#)'.

In the center, there are two main gene cards for **TGFB1** (transforming growth factor, beta 1) and **VWF** (von Willebrand factor). Each card has a grid of colored boxes representing various gene annotations like Aliases, Drugs, Genomes, Pathways, Publications, etc.

On the right side, there's a sidebar titled 'データ カテゴリー' (Data Category) which lists various services and databases: LifeMap Discovery™, SPIRE/MOPED, DAcentral, User comments, LifeMap PR, Site Map, Version 3.10, and Previous site.

At the bottom, there's a 'Statistics' section with tables for Total GeneCards genes, HGNC Approved genes, Hot genes, and Disease genes. There's also a 'Category' table and a 'Example Genes' table.

Footnotes at the bottom include: 'Click on the numbers to get to the statistics page, and search the genes within this category' and 'The GeneCards human gene database gene index: 1 3 5 6 A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z'.

20130922

第3回モデル生物丸ごと一匹学会

10

GeneCardsのデータカテゴリーはデータクラウドの 利用者の潜在的観点

The screenshot shows the GeneCards homepage. At the top, there's a navigation bar with links for Home, GeneCards Guide, Suite, Terms and Conditions, About Us, User Feedback, and Mirror sites. Below the navigation is a search bar with placeholder text "Search the GeneCards human gene database". The search bar includes dropdown menus for "Search by" (keyword(s), ID, or UniProt ID) and "for" (gene name, alias, or synonym). It also features links for Advanced Search and About V3 Search. To the right of the search bar is a news section titled "News and Views" with a link to Version 3.10 (28 April 2013). Below this is a "New Features" section listing Super Pathways, Protein expression, and LifeMap summaries. A sidebar on the left lists "Affiliated Sites" such as MalaCards, GenBank, and UniProt. The main content area contains sections for Aliases, Summaries, Genome views, Proteins, Protein Domains/Families, Function, Pathways & Interactions, Drugs & Compounds, Transcripts, Expression, Orthologs, Paralogs, Genomic Variants, Disorders/Diseases, Publications, External Searches, Genome Databases showing the gene, Other Databases showing the gene, Specialized Databases showing the gene, Intellectual Property for the gene, and Products. A large black box highlights the "Paralogs" section. A callout bubble on the right says "データ カテゴリー". At the bottom, there's a "Statistics" section and a footer with a copyright notice.

20130922

第3回モデル生物丸ごと一匹学会

11

GeneCardsの情報源

20130922

第3回モル生物丸ごと一匹学会

12



構造生物学のデータベースとツールはこれら

蛋白質の配列・構造・相互作用・解析に関するデータベースとツールを集積し、各サイトに独自にコメントをつけ、サイトの機能によって分類したリンク集です。

目次 [非表示]

1 データベース編

- 1.1 配列から探る
- 1.2 構造を探る
- 1.3 技術を探す
- 1.4 その他の生体高分子は
- 1.5 低分子を巡る
- 1.6 相互作用を探る

2 ツール編

- 2.1 配列をアライメントする
- 2.2 立体構造を入力としてその特徴を分析する
- 2.3 立体構造を表示する
- 2.4 構造を比較する
- 2.5 構造を予測する
- 2.6 相互作用する部位を予測する
- 2.7 ドッキングを予測する
- 2.8 振舞いをシミュレーションする
- 2.9 NMR構造解析を支援する
- 2.10 X線構造解析を支援する
- 2.11 質量分析を支援する
- 2.12 その他
- 2.13 他のサイトをもっと見てみたい

GTOP

全ゲノム配列が決まった生物種の全ORFのコードするタンパク質の機能と立体構造予測結果をまとめたデータベース。
PDB, SCOP, Prosite, Pfamなどに加え、天然変性（ディスオーダー）領域の情報も提供。
2010年10月版で、1357種のゲノムを収録。

InterPro

タンパク質の配列にアライアンされるSCOP, CATH, Pfam, TIGRFAMs, Prosite, PRINTS, ProDom, SMARTなどのドメインを一括して表示するデータベース。

InterProScan

利用者が指定したタンパク質の配列についてPfam, TIGRFAMs, PRINTS, ProDom, SMARTなどを一括して検索し、表示する。
立体構造アライメントは出来ず、データベースの選択によっては結果が出るまで長時間かかることがある。

Q-SiteFinder

タンパク質にプローブ球を転がして、ポケットを同定する。計算結果として、10カ所のポケットをWebブラウザ上で表示してくれる。手元のPDBファイルのポケット同定以外にも、PDBIDにより既知構造のポケットを検索可能。計算する際にPDBファイルに含まれている低分子をどう扱うか選択できる。
利用形態 サーバサイド

eF-surf

タンパク質の立体構造座標から、分子表面および静電ポテンシャルを計算する。
利用形態 サーバサイド

eF-seek

クエリーとしたタンパク質のリガンド結合部位と類似した構造を持つタンパク質をeF-siteデータベースから検索する。

利用形態 サーバサイド

Evolutionary Trace Server

ET viewer: および ET report_makerにより、PDBに登録されている立体構造データをもとにして進化トレース法を行った結果を見ることができる。

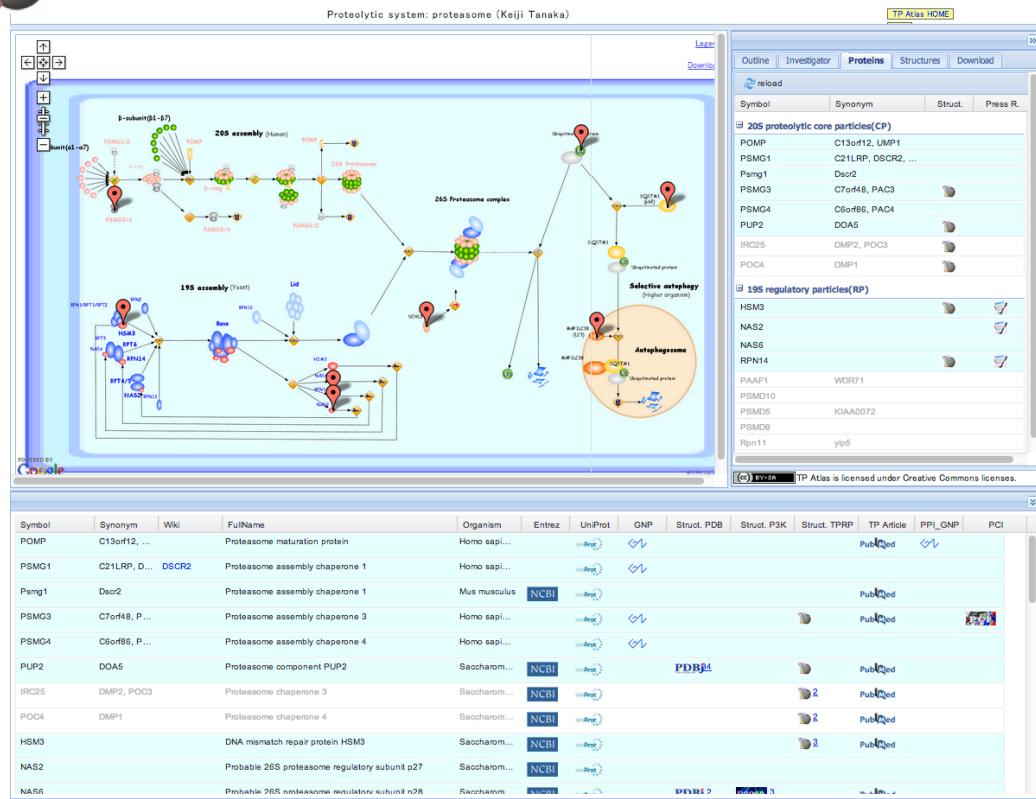
利用形態 サーバサイド

構造生命科学データクラウドの素材

パブリックな情報資源
独自の情報資源(DBs)



TPRP: TP Atlas of 35 research subjects one by one



TPRP: PRotein Experimental Information Management System

PREIMS helps you find a protocol from a list or search by key word(s)/protocol ID

eSOL Solubility database of all *E.coli* proteins

eSOL(Solubility database of all *E.coli* proteins)は、再構築型の試験管内タンパク質合成系を用いて、大腸菌の全てのタンパク質を発現させた際の凝集の度合い(可溶率)と合成量をまとめたデータベースです。

» ホーム » キーワード検索 » 遺伝子名一覧検索 » ダウンロード » リンク

お知らせ

2012.05.02

- ・ eSOLデータベースのエントリーのうち、788個の凝集性タンパク質に対する分子シャペロンの凝集抑制効果データが追加されました。
- ・ 項目検索機能が追加されました。また、項目の組み合わせ検索も可能となりました。

概要

このデータベース(eSOL)は、ターゲットタンパク研究プログラム技術開発分野生産領域の東京大学上田研究室が再構築型の試験管内タンパク質合成系を用いて、大腸菌の全てのタンパク質を発現させた際の凝集の度合い(可溶率)と合成量の実験結果を網羅しています。データベースの仕組みは同じくターゲットタンパク研究プログラム技術開発分野の情報プラットフォームが用意し、遺伝子名またはクローニングID(JW ID)から各タンパク質の実験結果を検索することができます。

実験の手法としては、まず、奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科森研究室で構築された大腸菌の全遺伝子のライブラリーであるASKAライブラリーのプラスミドからPCR反応によって各遺伝子断片を増幅します。

次に、増幅した遺伝子断片から、再構築型の試験管内タンパク質合成系であるPURE systemを用いてタンパク質を合成させます。反応後、一部を分取(Total)した後、残りを遠心し(20,000×G、30分)、上清を回収します(Sup)。

こうして得られたTotalとSupをそれぞれSDS-PAGEで分離し、合成されたタンパク量及び遠心で上清に残った割合(可溶率)を計算します。以下に手順の模式図を示します。

ASKA ライブラリ

PCR 反応で各遺伝子を増幅

翻訳系を再構築

翻訳因子
tRNA
リボソーム
アミノ酸
エネルギー分子など

遺伝子断片

PURE system を用いた翻訳反応

可溶率 = $\frac{\text{Sup}}{\text{Total}} \times 100$

Total Sup

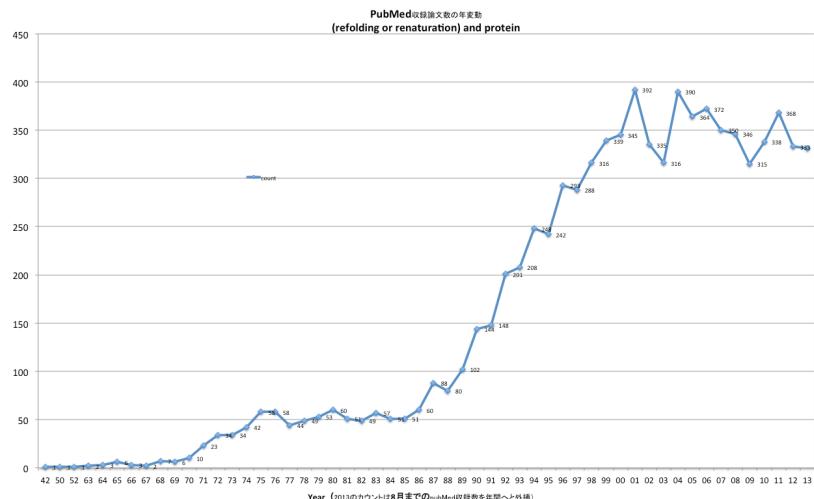
可溶量と可溶率の定量

code	status	Function	Cluster	baker's yeast	<i>Trypanosoma brucei</i>	<i>Schizosaccharomyces pombe</i>
1	reviewed	Atg1 kinase and its regulators	ATG1	ATG1	ATG1	ATG1
2	orthologous		ATG13	ATG13	ATG13	ATG13
3	homologous		ATG13	ATG13	ATG13	ATG13
			ATG14	ATG14	ATG14	ATG14
			ATG17	ATG17	ATG17	ATG17
			ATG29	ATG29	ATG29	ATG29
			ATG31	ATG31	ATG31	ATG31
			ATG6	ATG6	ATG6	ATG6
			VPS30	VPS30	VPS30	VPS30
			ATG14	ATG14	ATG14	ATG14
			SNC1	SNC1	SNC1	SNC1
			MP215	MP215	MP215	MP215
				PtdIns 3-kinase complex		
29			EAN170672.1	EAN170672.1	EAN170672.1	EAN170672.1
			TRB1101.090	TRB1101.090	TRB1101.090	TRB1101.090
			PPK19	PPK19	PPK19	PPK19



情報拠点：巻き戻し技術データベース

- 情報源：論文



- データ項目：Title, URL, protein names in the article/in UniProt, amino acid sequence, UniProt ID, Function, Domain, refolding method, pH, temperature °C, validation, Notes Methods (copy & paste)

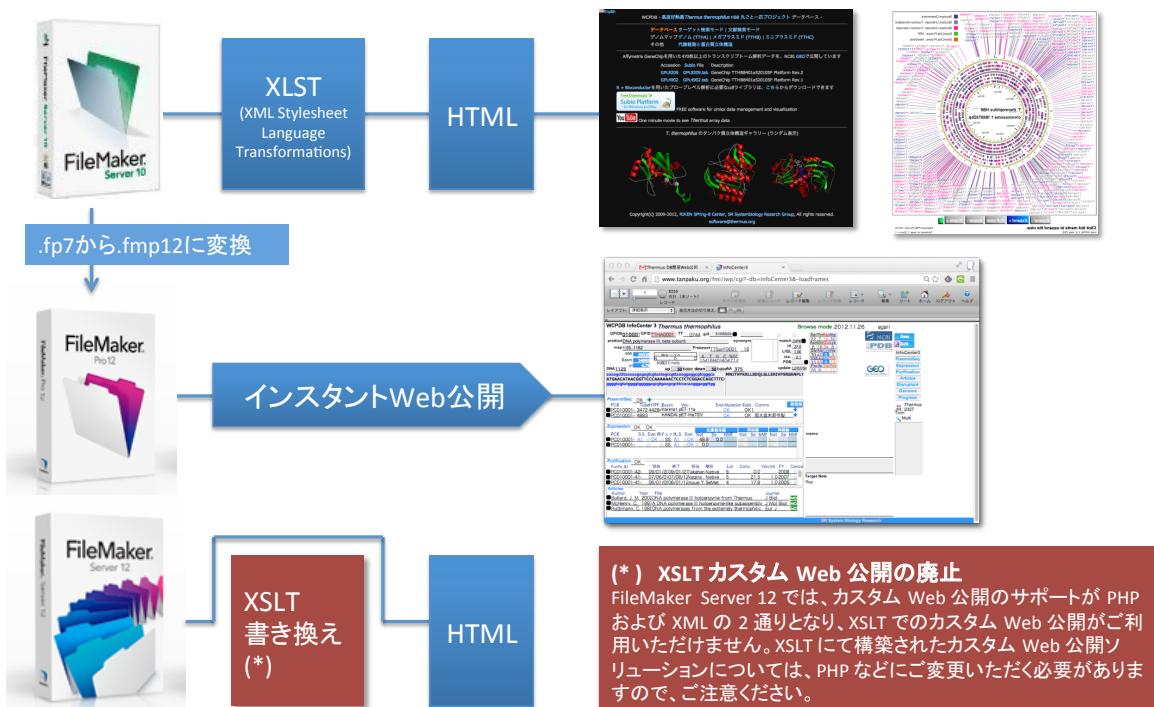
20130922

第3回モデル生物丸ごと一匹学会

19



Thermus DB再現状況 (お茶の水女子大学由良教授と共同で試行中)



20130922

第3回モデル生物丸ごと一匹学会

20

FUJI DB

タンパク質オンデマンド解析 DB

Japanese English

使い方

Step1.タンパク質のアミノ酸配列入力
タンパク質のアミノ酸配列を一文字表記で入力する。タンパク質の属する種の分類と、保存領域決定に使うホモログ数を指定する。

Step 1 Seq input

Step2.ホモログ検索と保存領域決定
ホモログが検索され、立体構造アラインメントのある部分と保存領域が画面に表示される。保存領域の決定に用いるホモログは利用者が任意に変更し、保存領域を再計算させることができる。保存領域自体も任意に変更可能である。

Step 2 Cons region

Step3.タンパク質の一次構造表示
立体構造(PDB,SCOP)アラインメントが、左(N端)から右(C端)に直線的に表示される。また、Pfam,SMARTドメインアラインメント、タンパク質の保存領域、不規則領域(disorder)・SEG・コイルドコイル予測、シグナル配列・膜貫通領域・細胞内局在の予想、自動機能予測も同じ画面に示される。

Step 3 1D display

Step4.タンパク質の立体構造表示
立体構造に対するアラインメントがあれば、それぞれのPDB構造に対するアラインメントが立体的に表示される。アラインメントのない領域、PDB構造中のギャップ、分子の内側・外側の区別、保存領域も表示される。

Step 4 3D display

20130922

第3回モデル生物丸ごと一匹学会

21

Thermus DB再公開ならびに
構造生命科学データクラウドの公開までしばらくお待ちください。
(2013年9月時点)



20130922

第3回モデル生物丸ごと一匹学会

22